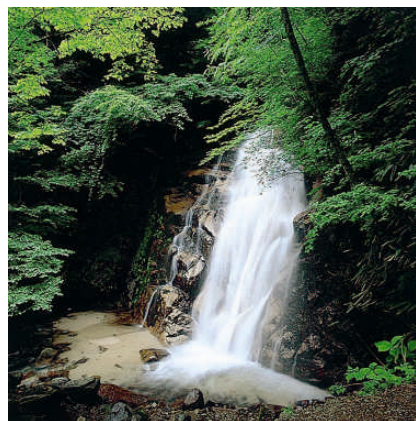


番 号	27	区 分	町指定文化財
種 別	名勝	管 理 者	長野県
名 称	旧中山道 男滝女滝		
指定年月日	昭和49年7月12日		
所 在 地	南木曾町吾妻下り谷		

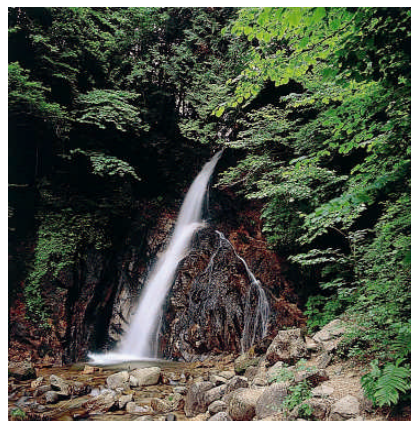
概 要

この滝は、木曾に街道が開かれて以来、旅人に名所として親しまれ、憩いの場となっている。中山道は当初滝上を通っており、江戸中期以後に現在の道筋になった。ちなみに、『妻籠宿書留』には正徳2年(1712)「男滝上之道」と記されており、この頃はまだ滝上を通っていたと思われる。滝及び滝壺は、洪水や蛇抜けなどでその丈を低くしているが、なお往時の姿をとどめており、現在は信濃路自然歩道の名所となっている。この滝には、滝壺に金の鶏が舞い込んだという倉科伝説が伝わっている。また吉川英治氏によって、その著『宮本武蔵』の舞台としてとりあげられてもいる。

名称は雄滝雌滝とも記されるが、明治9年の「吾妻村誌」以来男滝女滝とされている。



男滝



女滝